

## 内科（血液内科）

連携基幹病院数	3施設	
連携基幹病院名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢大学附属病院</li> <li>・金沢医科大学病院</li> <li>・公立能登総合病院</li> </ul>	
指導医 計：2名 ◎指導責任者	氏名	専門
	◎山崎 雅英	血液悪性腫瘍，血栓止血，血液膠原病，輸血療法
	材木 義隆	血液悪性腫瘍，造血不全，造血幹細胞移植
指導責任者紹介	<p>日本内科学会 総合内科専門医，指導医，JMECC インストラクター</p> <p>日本血液学会 血液専門医，指導医，評議員</p> <p>日本老年医学会 老年病専門医</p> <p>日本輸血・細胞治療学会 認定医，I&amp;A インスペクター， 学会認定・自己血輸血責任医師</p> <p>日本臨床検査医学会 臨床検査管理医</p> <p>ICD]制度協議会 ICD(インフェクションコントロールドクター)</p> <p>骨髄移植推進財団調整医師</p> <p>日本救急医学会 ICLS インストラクター</p>	
専門医数	2名（日本血液学会）	
病床・患者数 （2015年度実績）	<p>病床数 30床（うち無菌個室2床，大部屋無菌室4床）</p> <p>年間外来患者数 のべ約 3200名（新患患者数 430名）</p> <p>年間新入院患者数 のべ約 280名（患者実数：AML11名，ALL1名，NHL45名，AA3名，MDS11名，MM14名，CML4名，ET1名，PV1名，ITP12名，APS8名，VWD1名，DIC7名，など）</p>	
研修の特徴	<p>能登地区唯一の血液内科専門医の常勤病院であり、近隣の病院・医院より血液疾患が疑われる種々の患者さんが紹介され、その診断・治療を行っています。</p> <p>当科は金沢大学附属病院血液内科の関連施設であり、常勤専門医2名と金沢大学血液内科講師の非常勤医師1名で診療を行っています。</p> <p>無菌室6床を有し、急性白血病，悪性リンパ腫をはじめとする血液悪性腫瘍については JALSG(Japan Adult Leukemia Study Group)に参加し、日本血液学会造血器腫瘍ガイドラインに準じ化学療法を行っています。また、ITP(特発性血小板減少性紫斑病)やAPS(抗リン脂質抗体症候群)などの血液膠原病の診断治療も得意としています。2015年度実績を見ていただければわかる通り、多くの患者さんが入院加療していますので、豊富な症例を研修することが可能です。</p> <p>院内では造血幹細胞移植はできませんので、移植対象患者は金沢大学附</p>	

	<p>属病院血液内科やグループ病院である恵寿金沢病院に紹介し、移植治療を行っています。</p> <p>2016年度からは血液専門医2名の常勤体制となりましたので、よりきめ細やかな研修体制が可能となっています。</p>
臨床研修の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>日本血液学会 血液専門医・指導医の指導の下、二人主治医体制</u>で患者診療にあたります。初期研修医が研修する際には指導医（専門医）＝専攻医＝初期研修医による「屋根瓦式」で研修指導を行います。</li> <li>・ 前述の通り、造血幹細胞移植以外の血液内科の診断・治療は当院で施行できます。診療科の垣根がなく、非常に風通しのよい病院で、かつ症例が豊富であり、<u>様々な症例を比較的短期間で経験</u>できます。</li> <li>・ <u>週1回（金曜PM）症例カンファレンス</u>を行い、外来・入院患者で気になる症例、新患症例につき、症例検討を行います。</li> <li>・ <u>週1回（水曜PM）金沢大学附属病院講師の外勤日には血液内科メンバー全員で病棟回診、鏡検カンファレンス</u>を行っています。</li> <li>・ <u>外来診療</u>：専攻医は1年を通じて内科外来にて初診1コマ、再診1～2コマを担当します。初診では、血液疾患（多くは他院・他科からの紹介です）をはじめとする内科一般さまざまな症例を経験できます。</li> <li>・ 大学病院のように診断がついた患者を治療するのではなく、<u>診断から治療まで、専門医の指導の下、一貫して診療</u>することができます。</li> <li>・ 学会報告や臨床研究を行い発表する。</li> </ul>
単年度専攻医受け入れ可能人数	2名（研修期間をずらすことで複数の専攻医の対応が可能です）